



放送大学大阪学習センター 2025 年 4 月発行



2024 年度第 2 学期面接授業「古典落語の世界」(19 頁に関連記事)

《目 次》

巻 頭 言

文化・芸術の幸う都市・大阪・・・・・・・・・・ 1

- ◆ 客員教員の退任ご挨拶・・・・・・・・・・ 2
- ◆ 客員教員の着任ご挨拶・・・・・・・・・・ 4
- ◆ 2025 年度大阪学習センター客員教員一覧・・・・ 6
- ◆ 「学習相談」について・・・・・・・・・・ 6
- ◆ 「勉強会」について・・・・・・・・・・ 7

----- 実施報告 -----

- ◆ 2024 年度第 2 学期 入学者の集い・・・・・・・・ 8
- ◆ 2024 年度 学生研修旅行・・・・・・・・・・ 8
- ◆ 2024 年度第 2 学期 学習支援の集い・・・・・・・・ 9
- ◆ 2024 年度第 2 学期 オープンキャンパス・・・・ 9
- ◆ 2024 年度第 2 学期 Web 科目登録体験会・・・・ 10
- ◆ 2024 年度第 2 学期 公開講座・・・・・・・・ 10

- ◆ 2024 年度第 2 学期 学位記授与式・・・・・・・・ 11
- ◆ 第 6 回こぼれ音楽祭・・・・・・・・・・ 14

----- お知らせ -----

- ◆ 事務室からのお知らせ・・・・・・・・・・ 15
- ◆ 図書・視聴学習室からのお知らせ・・・・ 20

【特集】大阪学友・同窓会だより・・・・・・・・ 21

----- サークル紹介 -----

- ◆ 軽音倶楽部・・・・・・・・・・ 22
- ◆ 歌曲の会・・・・・・・・・・ 22
- ◆ 放送大学おおさか若者のつどい・・・・ 23
- ◆ 放送大学 関西陸上競技部・・・・・・・・ 23

## 文化・芸術の幸う都市・大阪

大阪学習センター所長 金水 敏

皆様ご承知の通り、面接授業は、各学習センターが趣向を凝らして、その土地柄の特色を生かした魅力的な授業が企画されています。大阪学習センターの場合は、神社仏閣・街歩き・遺蹟訪問、美術館見学、劇場での観劇といった実地踏査、学外見学を含むものに特色があるように思います（多くは座学との組み合わせで実施されています）。

今後、開催の有無、内容も含めて変更の可能性はありますが、2024年に実施したものの例をお示ししたいと思います。詳しくは、講師名を参考にシラバスの検索をお願いします。

### ○神社仏閣・街歩き・遺蹟訪問など

- 四天王寺見学（一本崇之講師「四天王寺信仰を読み解く」）
- 住吉大社御田植神事見学（北村毅講師「住吉大社御田植神事」）
- 大阪市内街歩き・建物探訪（小浦久子講師「都市のかたちと空間文化」）
- 百舌・古市古墳群・堺市博物館等見学（中久保辰夫講師「古墳時代の考古学」）
- 天王寺公園植物観察（片山雅男講師「日本の植物と私たちの暮らし」）
- 奈良の薬草園見学（高橋京子講師「漢方今昔物語：生薬国産化」）



### ○美術館見学

- 国立国際美術館見学（加藤義夫講師「現代の美術：その哲学を語る」）
- 東洋陶磁美術館等見学（橋爪節也講師「美の感動を生む場所－美術館」）



### ○劇場での観劇

- 大槻能楽堂での能楽鑑賞（中尾薫講師「能の世界を知る」）
- 国立文楽劇場での文楽鑑賞（天野光講師「『文楽』を鑑賞する」）
- 天満天神繁昌亭での落語鑑賞（金水敏講師他「上方落語の世界」）



これらは、いずれも大変人気の高い面接授業です。これだけ多彩な見学・鑑賞系の面接授業が開設できるという点で、改めて大阪の文化度の高さについて認識を新たにさせられます。

今後も、こういった実地踏査を含む授業を継続していく予定ですが、問題点もあります。一つは、例外もありますが、入場料、入館料等のエクストラな出費を受講者をお願いせざるを得ない点です。これは如何ともし難いので、授業の性質上やむを得ないこととお認めいただくしかないでしょう。

もう一つは、人気が高すぎて、どの授業も競争率が高いということです。今までに応募したけどちっとも当たらない、という方もいらっしゃるかもしれません。純粋に抽選をしますと、何度も落ち続けるという事態も発生してしまいます。今後は、定員を増やしたり、落選経験者は次回、優先して受講者に繰り入れたり等、抽選方法に工夫をしていくといったことも検討中です。根気強く受講申請をしていただけましたら幸いです。

## 客員教員の退任ご挨拶

2025 年 3 月末で退任された先生方から、ご挨拶をいただきましたので、ご紹介いたします。

### 退任のご挨拶

#### 長谷川 義仁

2020 年から 5 年間、大阪学習センターで面接授業と勉強会でお世話になりました。この 3 月末をもちまして退任させていただきます。任期のうち 2 年間にコロナ禍だったことで、面接授業は 3 回だけの実施となってしまったことはとても残念です。

面接授業では、民法と医事法についてお話をさせていただきましたが、医事法は本務校でも開講していない科目であり、楽しく授業をさせていただきました。また、勉強会では、日常生活で遭遇する民事紛争のケースについて皆さんとお話することができ、これも楽しい時間を過ごさせていただきました。面接授業や勉強会でお話しさせていただいたことが少しでも皆さんのお役に立てたのならば嬉しく存じます。

最後にこの場をお借りして、金水敏所長をはじめとする大阪学習センターのスタッフの皆さま、および受講者の皆さまに厚くお礼を申し上げます。

(近畿大学法学部教授)



### 心からお礼申し上げます

#### 白井 利明

着任した 1 学期は非常事態宣言で勉強会を開けず、その後もコロナに振り回され、2024 年度の 7 月の面接授業では自分がコロナに罹患して Zoom 授業となってしまう、ご迷惑をおかけしました。

やっと始まった最初の勉強会で、多様な年代の受講生の皆さまを前に途方に暮れる私に、受講生の方から「教員が話したいことを話したら良い。教員が楽しそうに話すのを見るのが楽しい」と、背中を押しいただきました。私は発達心理学の見方をお伝えしたいと思いました。発達心理学は「何歳になったら何ができる」の目安を教えるものと思われていますが、「それがなぜ、どのようにできるようになるのか」という「動き」を捉えるものです。動きたいのに動けない人たちがどうしたら動けるようになるのか、個人の必然性とその条件を発達という視点から明らかにします。私の授業は、発達心理学のワークをすることで、自分を振り返り、相手の話も聞いて、そのなかで生まれた「気づき」を交換します。こうしたワークを通して自分や他人の何かが動き出すかもしれない瞬間に立ち会い、発達心理学の面白さを体験していただけていたら嬉しいです。熱心に受講していただいた皆さまに心からお礼申し上げます。

西田正吾前所長、金水敏所長、山本拓司事務長をはじめ、大阪学習センターの職員の皆様に支えられた 5 年間でした。厚くお礼申し上げます。

(大阪教育大学名誉教授)



## 退任のご挨拶

### 入戸野 宏

2020年4月から5年間にわたり、お世話になりました。面接授業は「実験心理学入門」、勉強会は「心理学について考える」というタイトルで実施しました。ちょうど新型コロナウイルス感染症の蔓延による行動制限がかかった時期からのスタートでしたが、「明けない夜はない」という言葉をそのままに体験できた5年間でした。



私が専門とする心理学は、私たちにとって身近ですが、誤解されやすい学問でもあります。科学としての心理学と、市井に生きるひとりの人間としての価値観がぶつかることもあるからです。「現在の学問からここまでは言えるが、これ以上は分からない」という私の態度に歯がゆさを感じた人がいるかもしれません。しかし、簡単に答えを出さず、さまざまな事例やデータを参照しながら、考えを更新しつづけること。それが心理学・人間科学の真髄であると少しでも伝わったのなら、とてもうれしいことです。



熱心に受講してくださった面接授業受講生の皆さま、毎回のように勉強会に参加して意見交換してくださった皆さま、さまざまな準備をご担当いただいた大阪学習センターのスタッフの皆さまに、心よりの感謝を申し上げますとともに、今後のご活躍とご健勝を祈念しております。

(大阪大学大学院人間科学研究科教授)

## 退任のご挨拶

### 酒井 規夫

2020年4月から5年間に亘り大阪学習センターで毎月の勉強会と年に一度の面接授業を担当させていただきました。最初は大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻の神出計教授から引き継ぎの依頼をいただき、また西田正吾前所長からのご依頼もあり、専門の遺伝学を中心とした医学に関する講義をすることとして、お引き受けさせていただくことにしました。ただ最初は大学の学生とは違う放送大学のさまざまな学生さんへの講義にどんなことをしたら良いのか戸惑いながらのスタートでした。



ですが、実際には毎回の勉強会で、出席をとりながら、皆さんの関心や疑問をお聞きし、それに対して回答しながら講義内容を決めていくことにしました。また年に1回の面接授業では、1日は僕が小児を中心とした先天異常、遺伝疾患の話をして、もう1日は生まれるまでの生命誕生の神秘を産婦人科の遠藤誠之先生に担当していただくという構成で行い、まあまあ好評だったのではないかと思います。それらを通して、一般の方が今の医学や遺伝学について、大変興味を持たれていることを感じることができ、時には自分自身知らないことについて色々参加者から教えてもらうことも多く、日々の勉強会や面接授業することの楽しさを感じるようになり、この5年間はあっという間でした。

今となっては、放送大学でのいろんな学生さんとの出会いが今年度いっぱいではなくなるのがとても寂しい気分です。でも僕の後任は保健学専攻の竹屋泰先生にお願いしておりますので、学生の皆さんはきっと楽しい講義と出会えることを信じています。

最後に西田正吾前所長、金水敏所長をはじめとする大阪学習センターの皆さまのご協力に感謝し、お会いしたすべての学生さんとの出会いに深謝して、お別れの挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

(大阪大学名誉教授、医誠会国際総合病院難病医療推進センター副センター長)

## 客員教員の着任ご挨拶

2025 年 4 月から新たに 4 人の客員の先生をお迎えしました。ご挨拶をいただきましたのでご紹介します。

### 大阪学習センター客員教授

林 晃大（はやし あきとも）

2025 年 4 月から面接授業と勉強会を担当させていただきます。

私の専門は「行政法」です。「行政法」は、憲法や民法、刑法といった他の法領域と比較すると一般的な知名度はさほど高くなく、具体的なイメージもわきにくいかもしれません。しかしながら、「行政法」は、私たちの日常生活とは切り離すことのできない、必要不可欠な法領域です。

あまり意識していないかもしれませんが、私たちは日頃から行政活動、そして「行政法」と深い関わりを持ちながら生活をしています。例えば、義務教育を受けたり、自動車の運転免許を取得したり、人生の節目において役所に様々な届出をしたり、私たちの近くには常に「行政」が存在します。また「行政」も、まちづくり、自然環境や文化財の保護、社会保障など、私たちの生活をより良いものにすべく活動しています。「行政法」とは、このような私たちの日常生活に密接にかかわる行政活動に関するルールなのです。

ここでは、このような多種多様な「行政法」のうち、地方自治に関するルール、そして環境保護に関するルールを面接授業と勉強会を通じて皆さんと勉強していきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。



（近畿大学法学部教授）

### 大阪学習センター客員教授

綿村 英一郎（わたむら えいいちろう）

2025 年 4 月から客員教授としてお世話になります！

私の専門は法律をメインとする社会心理学で、犯罪心理学や認知心理学、行動経済学など、他の領域とも一部重なります。人間が法をどう考え、法がどのように人間の心に影響を与えるのかという問題を探ることが、私は本当に面白くてたまりません。

たとえば、安楽死法、AI 裁判、児童虐待、少年法、死刑制度など、社会でよく議論される問題を扱っています。安楽死法に関しては、個人の権利と生命の神聖さとの天秤をどのように取るべきか、これは究極のジレンマだと思っています。虐待をどう防ぐか、AI による判決が人々の公平感にどう響くのか、少年法や死刑制度はどんな心理的メカニズムと関わっているのか、これらを常に考え続けています。

法と人間の心理がどのように絡み合っているのかを社会心理学を通じて理解することが、より良い社会づくりに欠かせないと考えています。皆さんと一緒に、現実の場面にも役立つ視点を持ち寄りながら、法と心の問題に取り組んでいけたらと思っています。

（大阪大学大学院人間科学研究科教授）



## 大阪学習センター客員教授

### 高橋 登（たかはし のぼる）

今年度から客員教員としてお世話になります。高橋 登と申します。私の専門は発達心理学・教育心理学です。子ども達のこころの発達について研究するのが発達心理学であり、得られた知見を教育の場に生かすことを目指すのが教育心理学ということになります。中でも、言葉の発達、特に読み書きの能力の発達について研究してきました。子ども達は小学校入学までに多くの言葉を覚えて行きます。さらに、日本では多くの子どもが幼児期に遊びを通じて読み書きの基礎を身につけます。小学校入学後に子ども達が身につける言葉の力は幼児期の延長にあるものですが、文字を媒介とし、抽象的な語彙を多く含み、文章も複雑になるというように、幼児期とは質的に大きく異なるものです。現在では日本語を母語としない、外国にルーツのある子ども達も増えています。そうした子ども達は、日本語を学びつつ、同時に日本語で教育を受けています。子ども達が十全な日本語の力を身につけることを支援するためにも、学童期に子ども達が身につける言葉の能力がこういった内実を持つものなのか明らかにする必要があります。そうした学童期の言語能力について研究することが、現在の私の課題です。



（大阪教育大学特任教授）



## 大阪学習センター客員教授

### 竹屋 泰（たけや やすし）

今年度より、放送大学の客員教員を拝命いたしました竹屋泰です。本学の教育活動に貢献できることを、大変光栄に思います。私は老年内科を専門とし、高齢者医療の診療・研究・教育に携わってまいりました。超高齢社会を迎えた日本では、高齢者の健康維持や医療のあり方、フレイルや認知症、ポリファーマシーへの対応、多職種連携の重要性が高まっています。また、加齢そのものを克服しようとする研究が進み、老化生物学の分野も急速に発展しています。



放送大学は、幅広い世代の方々が学び続けることができる貴重な場であり、こうした視点からの学びを提供できることを嬉しく思います。本学の理念に基づき、医学・医療の知識を分かりやすく伝え、実生活に役立つ教育を心掛けたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

（大阪大学大学院医学系研究科教授）



## 2025 年度大阪学習センター客員教員一覧



大阪学習センターに在籍されている 13 名の客員教員の先生をご紹介します。

| 堀江 剛 客員教授                                                                                                 | 渡邊 英理 客員教授                                                                                                                                       | 榎本 剛士 客員准教授                                                                                                         |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 哲学・倫理学                                                                                                    | 近現代日本語文学                                                                                                                                         | 語用論・言語人類学・記号論                                                                                                       |
| 対話を通して「哲学する」ことの楽しさを体験していただこうと思います。哲学に関する専門的な知識は必要ありません。自分が「日頃考えたい」と思っていることをテーマにして、自由に発言することから「哲学」を始めましょう。 | 近現代の日本語文学を研究しています。世界を言葉によって捉え直し、そのあり方を編み直し、刷新しようとする。そうした営みが、わたしにとっての文学です。文学の言葉を読むことはまた、最も手軽な「その場での旅」のひとつです。文学の旅をともにし、触発的な時間をご一緒できることを楽しみにしております。 | 日々、当たり前のように繰り返していることの中にこそ、「謎めいた何か」が潜んでいるように思います。私たちにとってあまり身近な「ことばの使用」、より広く捉えるならば、「コミュニケーション」を入口として、その「何か」に迫ってみませんか。 |



| 林 晃大 客員教授 ※                                                                                   | 鳩澤 歩 客員教授                                                                                                                                       | 高橋 登 客員教授 ※                                                                                  | 綿村 英一郎 客員教授 ※                                                                                                                       |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 行政法                                                                                           | 経済史・経営史                                                                                                                                         | 発達心理学・教育心理学                                                                                  | 社会心理学・法と心理学                                                                                                                         |
| 行政訴訟のあり方について、特に、イギリスの司法審査制度に注目し、比較研究しています。また、環境を保護するための法政策についても、環境保護先進国であるイギリスの制度をもとに研究しています。 | グローバル化は単なるイデオロギーや一部の人たちの利害によるスローガンではなく、我々を取り巻く現在の状況です。このグローバル化の時代がどのように歴史的に成立してきたかを知ることは、現代経済の理解のために必須と言えます。欧州社会・経済の歴史的展開に関心をお持ちの方の参加を期待しております。 | 現在の学校では、多様な背景をもつ子ども達とともに生活し、学んでいます。現代社会において子ども達の十全な発達を支援するために私たちができることは何なのか、ともに考えて行きたいと思えます。 | 「法」をテーマに心理学的な研究を行っています。キーワードは、量刑、安楽死、死刑、少年法、虐待など…暗いものばかり。でも、人間の本性は暗闇の中にこそ浮かび上がるもの。法の中に潜む葛藤や矛盾を心理学の視点から解き明かし、新たな問いを生み出すことが私のミッションです。 |

| 小林 治 客員教授                                                                                                                              | 小林 秀敏 客員教授                                                                                                                             | 佐藤 尚弘 客員教授                                                         | 竹屋 泰 客員教授 ※                                                                                                   |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 微分幾何学                                                                                                                                  | 材料力学<br>(衝撃工学と植物バイオメカニクス)                                                                                                              | 化学<br>(高分子化学)                                                      | 老年看護学                                                                                                         |
| 幾何学の研究・教育に携わってきました。中でも微分積分の方法を取り入れた微分幾何学を専門にしています。およそ三百年の歴史があり、百年単位でその発展を学ばず、今世紀の有り様もそれとなく心に描くことができます。そのような将来像も含めて幾何学を論ずることができたらと思います。 | 樹木は、なぜ根元が太く先が細くなっているのか？オジギソウの葉は、どうして触れると一斉に閉じるのか？など、暮らしの中の小さな力学的話題を取り上げ、主として講義形式で、時には簡単な実習や実験を交えて工学的側面から考察し、皆さんと一緒に休日の一時を過ごしたいと思っています。 | 教養としての科学の基礎知識は、現代生活には欠かせないものです。物理と化学の基礎について現代生活と結び付けて理解を深めていきましょう。 | 現代の医学における老年医学の意義はますます大きくなっており、医療のあり方をどんどん変えつつあります。一方、高齢者の諸問題は皆さんの身近にもいろいろあると思いますので、皆さんの疑問を説きながら一緒に勉強したいと思います。 |

※2025 年度新任

| 佐藤 都也子 客員教授                                                                                               | 安留 誠吾 客員教授                                                                                              |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 看護学                                                                                                       | 情報工学                                                                                                    |
| 勉強会では、受講生の皆さんとの対話を通して“生きる”について考えていきたいと思っています。そして、“生きる”に寄り添う看護の在り方について、医療・看護の受け手となる方々の立場からも考えていきたいと思っています。 | これからの情報社会を生き抜くためにコンピュータやインターネット、そしてAIの仕組みを知ることは不可欠です。インターネットを利用した詐欺や犯罪に巻き込まれないためにも、情報科学の基礎を身につけていきましょう。 |



## 「学習相談」について

大阪学習センターでは、学習の方法、進め方、卒業研究、大学院進学など、学生のみなさんが学習を進めていく上で生じる様々な疑問や質問に応じるため、所長はじめ客員教員の先生方による学習相談を実施しています。

ご希望の方は、相談希望日の 1 週間前までにウェブサイトもしくは所定の申込用紙からお申込みください。

※詳細は、大阪学習センターウェブサイト→「HOME」→「スケジュール・授業案内」→「学習相談一覧」をご覧ください。



## 「勉強会」について

大阪学習センターでは学生と一般の方を対象に、客員教員による勉強会を無料開講しています。（単位付与はありません。）

※詳細は大阪学習センターウェブサイトから「スケジュール・授業案内」→「勉強会について」で確認してください。



### 概要

#### ※2025年度新任

|        | 分野                          | 担当講師        | 職名   | タイトル                      | 概要                                                                                                                                                                                                     |
|--------|-----------------------------|-------------|------|---------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 通年開催   | 材料力学<br>衝撃工学<br>&植物バイオメカニクス | 小林 秀敏       | 客員教授 | 固体力学アラカルト                 | 材料力学に関連した面白そうな話題、例えば、水面に浮いたオオニバスの葉に人が乗っても沈まないのは何故か？とか、側面多角形円筒の美しいランブシェードが無理なく折りたたむための秘密とは？というような、暮らしの中の小さな力学的話題を取り上げて、力学、特に材料力学の側面から考察してみたいと思います。                                                      |
|        | 微分幾何学                       | 小林 治        | 客員教授 | 数学の話題あれこれ                 | 参加者の提案に応じた話題を解説します。昨年は主にトポロジーの話題を取り上げました。物理学に関係する数学の希望もありましたが、本年度に持ち越しこの話題から始める予定です。これまで高校初年級または公共の図書館で自習可能な範囲の数学を前提としてきましたが、本年度は微分積分の基本事項と若干の抽象数学を断りなしに用います。とは言え高等数学に不慣れな参加者にも得るところがあるような解説になるよう努めます。 |
|        | 看護学                         | 佐藤 都也子      | 客員教授 | “生きる”を支える看護の実践と科学         | 少子超高齢化の進展や多死社会が到来し価値観が多様化している現代において、「人生の最期まで自分らしく“生きる”」に寄り添う看護の実践科学を事例や文献を活用して考えていきます。また、皆さんの興味あるテーマについてもディスカッションします。                                                                                  |
|        | 化学<br>高分子化学                 | 佐藤 尚弘       | 客員教授 | ノーベル化学賞と日常生活              | ノーベル化学賞の受賞対象研究が、私たちの日常生活にどのように役立っているかを、テキスト「ノーベル化学賞に輝いた研究のすごいところをわかりやすく説明してみた」(山口悟著:ベレ出版)を読みながら、学習していきます。文系の方でも研究内容がわかるように解説します。                                                                       |
|        | 経済史・経営史                     | 鳩澤 歩        | 客員教授 | グローバル経済史をドイツから読む          | GDP世界ランキングをわが国と競争(?)しているドイツ経済は、世界経済における重要なプレイヤーです。このドイツ経済がどのように成立してきたのかを、様々な視角から考察したいと考えます。担当者は西洋経済史・経営史の専門家、とくに経済部門としての鉄道業について研究してきました。ときには日独関係の歴史的な展開にも触れていきます。                                      |
|        | 社会心理学・法と心理学                 | ※<br>綿村 英一郎 | 客員教授 | 集団の心を読み解くー心理学で学ぶ人と人のつながりー | なぜ集団の中では人が変わったように振る舞うのか？どうして多数の意見に流されやすいのか？この勉強会では、日常や社会でよく見られる「集団心理」に焦点を当てます。参加者同士で考えや意見を共有しながら進める双方向型の講座です。職場や地域、家族の中でも役立つヒントを楽しく学び、使える形にして持ち帰りましょう！毎回出席する必要はありません。気軽に参加してください。                      |
| 前期のみ開催 | 行政法                         | ※<br>林 晃大   | 客員教授 | 環境保護について考えるー環境法の視点からー     | 環境保護は、いまや地球規模で取り組まなければならない喫緊の課題です。この勉強会では、環境保護を法政策の観点から皆さんと一緒に学んでいきたいと考えています。                                                                                                                          |
|        | 哲学・倫理学                      | 堀江 剛        | 客員教授 | 哲学対話を楽しむ                  | 哲学対話、特に哲学カフェを行い、その進行のやり方なども学びます。特に予習の必要はありませんが、積極的に「対話」に参加すること、また対話の進行役を試みることを期待されます。                                                                                                                  |
| 後期のみ開催 | 情報工学                        | 安留 誠吾       | 客員教授 | 情報ってなに                    | 2025年度の大学入学共通テストから「情報」が始まりますが、そもそも「情報」ってなんなんでしょう。これからの情報社会を生き抜くために必要なコンピュータやインターネットの仕組み、そしてAIなど情報科学の基礎を学びます。また情報に関わる最新の話題を取り上げて議論します。                                                                  |
|        | 近現代<br>日本語文学                | 渡邊 英理       | 客員教授 | 夏目漱石を読む                   | この授業では、夏目漱石の主要作品(小説と批評)を読み解き、その作品世界を味わうとともに、その思想の射程を探っていきます。作品の理解を促す時代背景や同時代の社会状況を踏まえて作品を精読し、あわせて、作品の世界から過去の、そして現在の世界や社会をめぐる知見を得ることも試みたいと思います。                                                         |



## 2024 年度第 2 学期 入学者の集い

2024 年度第 2 学期入学者の集いを大阪学習センター第 1 講義室において 10 月 6 日（日）に執り行い、45 名の新入生が参加されました。

当日は、放送大学岩永学長からのビデオメッセージを放映した後、大阪学習センター金水所長のあいさつに続き、新入生ガイダンスとして学習センターの利用方法、学習の進め方などの説明を行い、また式典終了後には、大阪学習センターで活動する各サークルの紹介が行われました。

参加した新入生はガイダンスに熱心に耳を傾け、手元の資料を確認し、ときに質問を投げかけるなど、これからの大学生活に期待をふくらませながら疑問をひとつずつ払拭する様が印象的でした。



## 2024 年度学生研修旅行

10 月 18 日（金）、滋賀県甲賀郡信楽町へ、学生と職員 45 名で研修旅行に行ってきました。直前に行先美術館が変更になったり、金水所長が急遽参加できなくなったり、参加者にとっては残念なこともあったのですが、実行委員の皆さんのご尽力のおかげで、バス内等大いに盛り上がり、普段交流の少ない学生同士が触れ合える有意義な旅となりました。

午前中は、陶器まつり開催中の信楽町の窯元を訪ね、信楽焼といえば“たぬき”の絵付け体験を行いました。それぞれが制作に熱中し、個性あふれるたぬきが完成しました。

午後からは、同じく信楽町内にある MIHO MUSEUM（ミホミュージアム）を訪れました。自然に囲まれた山間の駐車場に到着し、幻想的な雰囲気のアプローチを通して訪れる美術館は、日常を忘れることのできるすばらしい空間でした。展示物が多く見応えはたっぷり、直前の学芸員さんの丁寧な説明のおかげでより充実した鑑賞となりました。



信楽陶芸村



MIHO MUSEUM

## 学生研修旅行を振り返って



2024 年度学生研修旅行実行委員会委員長 宮首 好雄

学生研修旅行は、学びと交流の両面を大切にしながら、全員が安心して参加できるよう準備を進めてきました。

事前の打ち合わせやスケジュール調整はもちろん、予期せぬトラブルにも柔軟に対応し、その結果、多くの方が研修内容を深く理解し、仲間との絆を深めることができたと感じています。

また、成功の要因として、参加者全員の協力があつたことを強調したいと思います。時間を守り、積極的に学び、互いに助け合う姿勢があつたからこそ、スムーズな運営が可能になりました。皆さんの協力に心から感謝申し上げます。



## 参加者の声



♪ 日頃、お会いすることがない方と旅行を通してお話ができるなど、新たな出会いがあり、とても貴重な時間を過ごしました。また、いろいろな場所に行くことができ、有意義な旅行だと思います。

♪ お世話された方々に感謝いたします。バスでの予習やクイズは訪問先の知識につながり、より楽しめたと思います。

♪ 行き先について余り下調べをしていなかったのですが、その地に関係するクイズを準備してくださっていたので概要をつかめて楽しめました。

♪ 行き先変更になった Miho Museum は、季節や特設展示が異なる時期に再度訪ねたいと思うほど良かったです。

♪ 初めて参加してとても楽しかったです。知識も身に付き、知らない方と交流できたことがこれからの意欲につながりました。

♪ 通信教育ではなかなか学生同志の交流のきっかけがないので、仲間がいることを知れるのは励みになった。

## 2024 年度第 2 学期 学習支援の集い

12 月 14 日（土）14 時からセミナー室において、学習支援の集いを開催し、相談学生 11 名、先輩学生 4 名が参加されました。

履修科目の選択方法、卒業研究の取り組み方、オンライン授業の勉強方法、サークル活動について等々、日々の学生生活での疑問点や困りごとについて、先輩学生や所長、事務長より的確かつ親切なアドバイスがありました。

終了後は参加者の皆さんで情報交換の輪ができており、今後の充実した学生生活への契機となりました。



集いの様子

## 2024 年度第 2 学期 オープンキャンパス

2 月 2 日（日）及び 22 日（土）の 2 日間、2025 年度 4 月入学を検討されている方のためのオープンキャンパスを開催し、計 30 名が参加されました。

早くから多数の予約が見られたオープンキャンパスでは、不安が払拭された、資料が充実していたのでわかりやすい、入学に向けてすべきことがよくわかった等、様々な感想が寄せられ、自主的に職員へ質問を投げかけたり、親子でメモを取りながらスライドを確認したり、熱心に聞き入る保護者の姿も見受けられました。

次回は 2025 年 8 月頃に開催を予定しております。



## 2024 年度第 2 学期 Web 科目登録体験会

2 月 16 日（土）14 時から実習室において、システム WAKABA での科目登録が初めての方、操作が苦手な方のための体験会を開催しました。参加者は 6 名で、第 1 学期と同様に、公認サークル「キャンパス情報倶楽部」の亀井一夫さん、河原崎 信行さんに協力いただきました。参加者からは、とても丁寧に説明いただき、操作方法がよくわかりました、今後は自分一人で科目登録できそうだ、不安だった科目登録が無事にできて安心した、今後も体験会を開催してほしい等の感想をいただきました。WAKABA 操作に不安のある方は、ぜひこのような機会をご利用ください。



## 2024 年度第 2 学期 公開講座

大阪学習センターでは、放送大学での「まなび」を実際に体験してもらうため、大阪学習センター客員教員による公開講座を企画・開講しております。第 2 学期は以下のとおり計 4 回開催し、一般・学生合わせて延べ 104 名が参加されました。

参加者からは「いろいろな気づきを得た」「レジュメが充実している」「勉強会と共に様々な分野で開催してもらいたい」等の声をいただいております。次年度も知的好奇心を満たし、あらたな「まなび」につながる講座を多数開講予定です。広く皆様のご参加をお待ちしております。



長谷川 客員教授



渡邊 客員教授



鳩澤 客員教授



佐藤 客員教授

| 担当講師           | 本 務 先<br>専 門 分 野                  | 開 催 日 時<br>場 所                          | 講 演 題 目<br>講 演 要 旨                                                                                                                                                                            |
|----------------|-----------------------------------|-----------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 客員教授<br>佐藤 都也子 | 四條畷学園大学教授<br>看護学                  | 2024/10/20(日)<br>14:00 - 15:30<br>第1講義室 | <b>病(やまい)とともに生きる</b><br>人生100年時代、日本は世界的な長寿国となっています。長く生きていくことは、それだけ病気になることも多く、高齢社会はみんなが病気をもって生きていく社会とも言えます。無病息災から多病息災へ、病気とうまく付き合いながら、人生の最期まで自分らしく生きていくことについて考えてみたいと思います。                       |
| 客員教授<br>長谷川 義仁 | 近畿大学大学院教授<br>(法学研究科)<br>民法        | 2024/11/22(金)<br>14:00 - 15:30<br>第1講義室 | <b>おなかの赤ちゃんと法律—胎児も損害賠償を請求できるの?—</b><br>民法3条1項は、人が私法上の権利を享有することができるのは出生以後としています。では、もしおなかの赤ちゃんが交通事故でケガをしたとしたら?その赤ちゃんは、生まれていないのだから、損害賠償を請求できないのでしょうか?その赤ちゃんが損害賠償請求をできるようにするには、どういう論理が必要なのかを考えます。 |
| 客員教授<br>鳩澤 歩   | 大阪大学大学院教授<br>(経済学研究科)<br>経済史・経営史  | 2025/2/2(日)<br>15:00 - 16:30<br>第1講義室   | <b>鉄道のドイツ史—ドイツをつくり、ドイツを壊した—</b><br>現代の私たちが知る経済大国・「EUの盟主」ドイツ(ドイツ連邦共和国)という国がどのようにできあがったのかを、おもに社会経済史の視角によって追います。議論の中心となるのは、19世紀半ば以来の鉄道業の発達です。20世紀後半までのドイツの激動の歴史に鉄道がいかにかわって来たかを追います。              |
| 客員教授<br>渡邊 英理  | 大阪大学大学院教授<br>(人文学研究科)<br>近現代日本語文学 | 2025/2/22(土)<br>15:00 - 16:30<br>第1講義室  | <b>石牟礼道子の世界</b><br>2018年に惜しくも世を去った石牟礼道子の文学は、日本語文学のなかで「世界文学」として読まれる広がりや深さをたたえていると評されます。その代表作として知られる、水俣病患者の声をすくい上げた『苦海浄土』、幼年時代を描いた『椿の海の記』など、「小さな場所」をめぐるその文学世界を読み解いてみたいと思います。                    |

## 2024 年度第 2 学期 学位記授与式

3 月 23 日（日）14 時から、大阪学習センターにおいて 2024 年度第 2 学期の学位記授与式を執り行いました。卒業者は、教養学部 192 名、修士課程 9 名です。ご卒業・ご修了、誠にありがとうございます。

授与式は、事前に申し込みをされた学部 47 名、修士 1 名が出席され、岩永学長の祝辞、金水所長の式辞、大阪学習センター前所長 西田正吾様、大阪学友・同窓会代表世話人 多田和恵様からの祝辞に続き、卒業生代表 吉田理絵さんから答辞が述べられました。会場には名誉学生の吉田理絵さんのお父様も急遽駆けつけ、スライドに合わせ「放送大学学歌」を口ずさまれる姿が非常に印象的でした。

また、新たに 10 名に名誉学生の称号が付与され、大阪学習センターでは 58 名が名誉学生となりました。名誉学生とは、教養学部の全コースを卒業され、人物・学習態度が良好である方に対してお贈りする称号のことです。以下にこの度の 8 名のお名前をご紹介します、重ねてお祝いを申し上げます。

これまでの厳しい冬の寒さから一転、あたたかな春の日差しのもと、皆さんの門出を祝うにふさわしい和やかな一日となり、授与式はつつがなく閉式いたしました。



西田省吾 前所長



多田和恵  
大阪学友・同窓会代表世話人

2024 年度第 2 学期名誉学生表彰者（敬称略・順不同）

鈴木 雅子・森本 善文・濱田 万里・吉田 理絵  
古川 猛嗣・原田 勝司・青木 恵子・宮本 智恵子

### 卒業生代表答辞

春の香りが漂い始め、日差しに暖かさが感じられ、桜の咲く季節となりました。

本日、私たち 201 名は、放送大学教養学部及び大学院修士課程を修了し、ここに晴れて卒業の日を迎えることができました。大阪学習センター所長 金水 敏先生、ご来賓の皆様のご列席のもと、このように盛大な「学位記授与式」を挙行していただき、また皆様より心のこもったご祝辞を頂戴し、有難く万感胸に迫るものを感じております。これも家族をはじめ周囲の多くの方々温かい励ましや支援のたまものと、心より厚く御礼申し上げます。

振り返りますと、定年退職を迎えた父が、郵便局で放送大学のリーフレットに目が留まったことが放送大学との出会いでした。私は法学部の出身ですが、障害者福祉分野に携わっていたため、専門的な知識を学びたいと思い、2001 年 4 月、父は全科履修生、私は選科履修生として放送大学の門をくぐりました。

当時は神奈川学習センターの所属でしたが、私は結婚を機に 2002 年に大阪へ移住。社会福祉士・精神保健福祉士国家資格取得後、心理学を学ぶために、2006 年 4 月「発達と教育」専攻に全科履修生として入学、認定心理士資格取得を目指すことにしました。その当時、首都圏以外は CS 放送が基本だったために、自宅にスカパーアンテナを設置しつつ、大阪学習センターへビデオや CD を視聴するために幾度となく足を運びました。

また当時は、大阪をはじめとする近畿ブロックでは、心理学の面接授業を受講するのは至難の業でした。そのため、南関東ブロックをはじめ、北陸、四国ブロックまで遠征し、大変ではありましたが、最新の知見を得られることに喜びを感じていました。高知学習センターでの面接授業ではよさこい祭りや重なり、学友とともに高知の魅力も堪能できました。今でもつながりのある学友との出会いは、貴重な存在となりました。



こうした努力の甲斐もあって、2008年2月卒業前に認定心理士資格を取得し、2008年3月第1回目の卒業の際はNHKホールでの「学位記授与式」、ホテルニューオータニでの「卒業・修了祝賀パーティー」に家族で出席しました。その際、第3代目大阪学習センター所長 西原 浩先生に、夫にも「ご主人も放送大学いかがですか。」と気さくに声をかけていただき、お話が弾んだこと、また2度目の「生活と福祉」専攻卒業の際には私のことを覚えていてくださり、大阪学習センターでの学位記授与式の際にお話できたことはとても大切な思い出となっています。

2017年9月「人間と文化」コースを卒業後、続けて「社会と産業」コースに在籍中、2019年4月から12月まで放送大学・九州産業大学連携での「博物館実習」を受講することになりました。九州産業大学 現特任教授 緒方 泉先生との出会いによって、博物館に限らずいろいろなものの見方や考え方を学ぶことができました。また九州産業大学の学生の皆様には、放送大学の学生にとっても大いに刺激を得られ、心豊かなつながりを育むことができました。緒方先生とはコロナ禍を経た今でも交流があり、国際シンポジウムや文化庁の講座にオンラインで参加しています。学芸員資格取得を経て、現在は国立民族学博物館でボランティアとして博物館と学校との橋渡しを支援しており、仲間たちの存在に日々助けられています。

2023年3月「情報」コース卒業後、最後の「自然と環境」コースでは、今年1月に福井学習センターで「恐竜生物学」の面接授業を高倍率のなか受講することができ、全国から集まった学生と共に古生物学に関して一から学ぶことができました。大学院修士選科生時代を含め、いつの間にか足掛け24年の歳月が流れました。

このように放送大学には、いかなる時も羅針盤のように学びの中に人生の方向性を示してもらえたことが、私にとってとてもかけがえのない存在となっています。父は2019年3月に名誉学生となり、この度私も教養学部全6コースを修了し、名誉学生の称号を得ることができました。今回親子で名誉学生の称号を得られたことで、学びに対してもよき理解者である夫に感謝の意を表したいと思っています。

これからも私は教養学部選科履修生として学びを続けますが、いずれは大学院進学にも挑戦したいと考えています。

最後になりましたが、諸先生方をはじめ事務室の皆様、お世話になった多くの方々に感謝するとともに、私たちが生涯学習を進めるにあたり、今後もお力添えいただきますようよろしくお願い申し上げます。

また大阪学習センターの益々のご発展を祈念致しまして、卒業の挨拶とさせていただきます。本日はありがとうございました。

令和6年度第2学期 卒業生代表 吉田 理絵



## 卒業・修了生から喜びの声



情報コース 原田 勝司（名誉学生）

私は、在職中の2005年度に、知識拡大のため「選科履修生」に入学しました。その後、定年退職を機会に、学位取得を目標に定め、2010年度からは「社会と産業コース」に入学しました。当初は、一つのコースのみ卒業予定でしたが、次第に学習が楽しく貪欲になり、最初の学位取得後も学び続ける決心をしました。

その結果、今回（2024年度第2学期）の「情報コース」卒業により、教養学部の全6コースの卒業となり、「名誉学生」の称号をいただきました。これまで、20年間の学習となります。

私は、放送授業の学習は、大阪学習センターを利用しました。また、面接授業は、「大阪・兵庫・奈良」の各学習センターで受講し、いろいろな世代の学生の方と楽しく学習できました。先生方はじめ、学習を支援して下さった職員の皆様に感謝いたします。





## 情報コース 濱田 万里（名誉学生）

長きに亘り放送大学で学びました。

心理と教育の科目が、私事ではありますが、家での問題解決につながりました。キャンパスでは世代を超え、若い人から戦争を経験した人まで、様々な方と言葉を交わしました。良い思い出です。

コロナ禍に Web 単位認定試験に移行し、印刷教材も参照できるのに、試験時間に追われ、胸はドキドキ、足は震え、答えは画面から消え去り…、回収され、そんな科目もありました。

充実した日々でした。ありがとうございました。



## 心理と教育コース 上小牧 秀彦

私は、この度2度目の卒業を無事にできましたが、この間、新型コロナウイルス感染の大流行により、だれもが体験したことがない緊急事態宣言という状況下で導入された PC での Web 単位認定試験、慣れない PC 操作は、学習センターのスタッフの皆さまのご指導のおかげでもありました。本当にありがとうございます。

また、心理と教育コースの学びのきっかけは近親者が諸事情により“心の病”を発症したことがきっかけで“心理学”を学ばんといかん！と思いがつのり、学びをすすめました。そして心理学関連の資格を目指すに至りました。

そしてまた先日、初めて東京で本部主催の学位記授与式と卒業祝賀パーティーも参加し、全国から集った学友の“なかま”、皆さんと喜びを感じることができ、何ごとにも代えがたい時間を過ごさせていただきました。本当にありがとうございます。わからない、知らない学問がたくさんあります。私の学び、コツコツです。続きます。



## 心理と教育コース 川島 恵子

3月23日、学位記を授与いただき、本当に感無量でした。

若かりし頃、実家にお金がなく進学を諦め自分の進む道を選択できず、奨学金で商業高校を卒業後働き親の面倒をみてきました。歳月が流れて親も亡くなり子育ても終えたあと、今、大学に行き学びたい、学歴コンプレックスを解消したい！そう思い立ち、探した大学が放送大学でした。授業料が安く、自分の都合のよい時間で何度でも動画を視聴できるシステムは最適でした。授業も興味深く面白く、難しさもありつつも、学び知る喜びを味わうことができました。しかしやはり強い意志がないと続かないことも事実です。私が卒業を迎えることができたのも、多くの諸先輩方の熱心なお姿に励まされ刺激を受けたからです。

様々な年齢や背景を持つ学生が在籍する放送大学に出逢えて本当に有難く感じます。多くの人に希望と喜びと好奇心を刺激してくれる放送大学のより一層のご発展を祈念し、この4年間私を支えてくださった方々に深く感謝を申し上げます。



## 社会と産業コース 渡邊 国和

2013年に入学して12年かかりましたが初めて放送大学を卒業しました。高校時代に英語科の先生が「放送大学で大学生してるねん」と話してくれたのが放送大学を知ったきっかけです（後に大阪 SC の学生研修旅行で再会しました）。通学の大学を卒業して、自分も高校教師になったとき、ちょっとずつ学び続けようと思い入学しました。仕事の傍らだったので最初は単位を落としたりしていました。2017年に初めて面接授業を大阪と東京で受講し、授業の濃さ、先生・学生の熱量に触れてからは、面接授業の方を多く履修する年もありました。文京 SC の「ラジオ番組制作実習」を受講したご縁でラジオの「学生 VOICE」にも2回出演させていただきました。人気の「鹿児島湾洋上実習」も1回受講、全国に思い出があります。面接授業で得た知識をいまでも自分の授業で活かしています。12年かかりましたが、少しずつためた単位は減らないので、ゆっくり学ぶ自分にも卒業の日が来ました。放送大学は私にもう一つの人生を与えてくれました。感謝申し上げます。卒業をめざす皆さんを応援しています。

## 第6回こぼれ音楽祭

### もっと広がる音楽の輪 ♪伝える言葉が残される♪

軽音倶楽部代表 俵石 正雄

何か音楽イベントを大阪学習センターでできたらなあとの思いから始めた「こぼれ音楽祭」、2017年から回を重ねて早6回目。3月30日、コーラスサークル、歌曲の会、軽音倶楽部、そして今回は大阪学友・同窓会との共同開催！

オープニングを飾るピアノを囲む会。音楽界の異端児と称されるエリック・サティのグノシエンス。聞き覚えあるドビュッシー「アラベスク第1番」、ロマンティックでみずみずしい世界に聞き惚れる。続いて大阪学友・同窓会はシンガーソングライター荒川明浩さんを招いてのコンサート。自身の経験や気持ちを歌詞にした「特別扱いせんでええよ」や蛍池・庄内といった歌詞に地元愛溢れる「豊中が好きやから」などオリジナルソングのギター弾き語りに心惹かれる。コーラスサークル、メンバー有志が大阪・関西万博開会式で第九を歌うイベントに参加！♪春のうらの～「花」に始まり、世界初のCMソングと言われる「フニクリフニクラ」などを男女混声合唱。最後は「野に咲く花のように」「花は咲く」など参加者みんなで歌い、会場はにわか歌声喫茶と化す。歌曲の会、「おおシャンゼリゼ」で華やかなパリの彩りから“Non ti scorda di me(忘れな草)”、「愛の讃歌」などカンツォーネやオペラの名曲をピアノに合わせて歌唱。「私の侯爵様」は中世ヨーロッパの宴を彷彿とさせる。トリは軽音倶楽部！ビートルズの Day Tripper や懐かしい CM ソング「いつまでも変わらぬ愛を」、浜崎あゆみのバラード「Who...」などを演奏！

♪これからもずっとこの歌声があなたに届くようにと最後の締めは全体合唱、今年の曲は「もしもピアノが弾けたなら」。関西が誇る人気テレビ番組「探偵ナイトスクープ」、2代目局長を務めた西田敏行さんへのトリビュート。ピアノ伴奏に合わせて出演者と観客がひとつになって歌う。♪伝える言葉が残される 西田さんのユーモアと優しさ、時に流す涙の姿を私たちは忘れない。フィナーレを前に、5年間お世話になった山本事務長へ感謝を込めて花束贈呈。

クラシックピアノ曲、ギター弾き語り、コーラスに歌曲、ロックなバンドにポップなバラード、音楽の表現・形もさまざま。そこには、人をつなぐ魅力がある。音楽がつなげる絆、広がる音楽の輪。もっともっと音楽を続けていたい。また来年、2026年春「第7回こぼれ音楽祭」で会いましょう！

～感想を一部紹介します～

♪それぞれのサークルの特色や良さがよく出ていて素晴らしかったです。しみじみと音楽を味わうことができました。一緒に歌えて楽しかったです。

♪花は咲く、など知っている曲が聞けてよかった。

♪いつもいつも楽しませていただけてます。更なるご発展をお祈りします。



ピアノを囲む音楽会



荒川 明浩さん



山本 前事務長



歌曲の会



軽音倶楽部



コーラスサークル

## 事務室からのお知らせ



### 1. 学生証について

- 学生証は“所属学習センター”で交付します。
- 学期開始後に、「入学許可書」または、「有効期限の切れた学生証」をセンターに持参してください。
- 顔写真登録ができていない場合は、来所されても発行できません。出願時に未登録の方は、予めシステム WAKABA で写真登録するか、「学生生活の葉」巻末の様式で、大学本部へ写真を送付してください。（郵送での顔写真登録には2週間程度要します。）



全科履修生の学生証の有効期限は「2年」です。  
在学期間とは異なります。

#### ◆◆◆ 郵送での申請方法 ◆◆◆

大阪学習センターに来所できない方には、郵送で交付します。

封筒に以下①②2点を入れて、大阪学習センターまで送付してください。返送には、数日要します。

- ・返送用封筒は、レターパック（ライトまたはプラス）以外に対応できません。
- ・古い学生証を手元に置きたい場合は、旧学生証返却希望の旨を記載したメモを同封してください。

- ①「入学許可書」のコピーまたは有効期限の切れた学生証
- ② レターパック（ライトまたはプラス）

※返送先あて名明記のこと



### 2. キャンパスメールについて

大学や学習センターからのお知らせは、キャンパスメールに随時届きます。大事なお知らせもありますので、定期的に確認するようにしてください。

システム WAKABA にログイン後、「キャンパスメール」をクリックすると見ることができます。

メールアドレス： 学生番号@campus.ouj.ac.jp  
(ハイフンなし)



### 3. Wi-Fi 申請について

学習センターの無線 LAN (Wi-Fi) を利用する場合の申請方法が、所属学習センター窓口での申請から「オンライン申請」に変更になりました。

特に、面接授業で BYOD 科目 を受講される方は、受講までに申請手続きを終え、接続確認まで行っておってください。

放送大学の無線 LAN (WiFi-houdai) は全国の学習センターで接続可能で、在学中ご利用できます。



## ◆◆◆ 利用申請方法 ◆◆◆

- ① システム WAKABA の「放送大学自己学習サイト」で「情報セキュリティ研修（学用）」を受講し、小テストに合格（100%正解）する

※システム WAKABA>学内リンク>放送大学自己学習サイト>情報セキュリティ研修（学生用）」

- ② システム WAKABA より「オンライン申請」する。  
キャンパスメールアドレスで Google にログインし、Google フォームで申請します

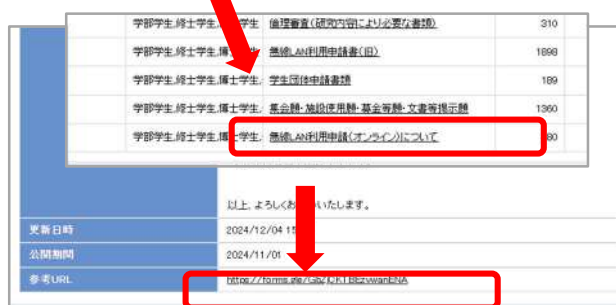
※システム WAKABA>各種届出・申請様式  
>無線 LAN 利用申請（オンライン）について

- ③ 申請後、即時 ID とパスワードが発行されます。

- ④ 各自で接続設定をする。

大阪学習センター開設BYOD（パソコン持参必須）面接授業を受講する方には、授業の2週間前までに別途案内を郵送します。

受講までに案内を必ず確認してください！



## 4. 大阪学習センター開設面接授業について

### ◆◆◆ 2025 年度第 1 学期 面接授業科目(開講日順) ◆◆◆

|    | 科目区分     | 種類 | 科目名            | 担当教員   | 開講日             | 定員 |
|----|----------|----|----------------|--------|-----------------|----|
| 1  | 専門／心理と教育 |    | 心理検査法基礎実習      | 林 萍萍   | 4月12日(土)・13日(日) | 50 |
| 2  | 基盤／外国語   |    | ドイツ語初級:会話のレッスン | 岩居 弘樹  | 4月12日(土)・13日(日) | 30 |
| 3  | 専門／心理と教育 | ■  | 心理学実験1         | 林 萍萍   | 4月19日(土)・20日(日) | 30 |
| 4  | 専門／心理と教育 |    | 心理学実験3         | 谷口 淳一  | 4月19日(土)・20日(日) | 50 |
| 5  | 専門／生活と福祉 | ★☆ | 漢方今昔物語:生薬国産化   | 高橋 京子  | 4月19日(土)・20日(日) | 25 |
| 6  | 専門／心理と教育 |    | 心理検査法基礎実習      | 上原 依子  | 4月26日(土)・27日(日) | 20 |
| 7  | 基盤／外国語   |    | 英語初級:日常からの一歩   | 里内 克巳  | 4月26日(土)・27日(日) | 40 |
| 8  | 専門／人間と文化 | ★  | 古墳時代の考古学       | 中久保 辰夫 | 4月26日(土)・27日(日) | 20 |
| 9  | 専門／心理と教育 | ■  | 心理学実験2         | 正田 悠   | 5月10日(土)・11日(日) | 30 |
| 10 | 基盤／外国語   |    | 英語上級:映画で英語を楽しむ | 小薬 哲哉  | 5月10日(土)・11日(日) | 40 |

■ BYOD科目

★ 学外授業を伴う科目

☆ 教科書購入が必要な科目

|    | 科目区分     | 種類 | 科目名             | 担当教員            | 開講日                              | 定員       |
|----|----------|----|-----------------|-----------------|----------------------------------|----------|
| 11 | 専門／人間と文化 |    | 漢字学2－漢字の成立と展開－  | 島山 奈緒子<br>鈴木 喬  | 5月10日(土)・11日(日)<br>5月11日(日) 3限のみ | 40       |
| 12 | 導入／情報    | ■  | プレゼンテーション技法     | 中西 通雄           | 5月17日(土)・31日(土)                  | 20       |
| 13 | 専門／心理と教育 |    | 社会的混乱時の心理学      | 綿村 英一郎          | 5月17日(土)・18日(日)                  | 80       |
| 14 | 専門／人間と文化 |    | イギリス文学の世界       | 野谷 啓二           | 5月17日(土)・18日(日)                  | 70       |
| 15 | 専門／自然と環境 | ★  | 日本の植物と私たちの暮らし   | 片山 雅男           | 5月17日(土)・18日(日)                  | 45       |
| 16 | 導入／情報    | ■  | プログラミング入門       | 安留 誠吾           | 5月24日(土)・25日(日)                  | 30       |
| 17 | 専門／社会と産業 |    | 地方自治と法          | 林 晃大            | 5月24日(土)・25日(日)                  | 70       |
| 18 | 専門／情報    |    | 人間中心のシステム設計に向けて | 伊藤 京子           | 5月25日(日)・31日(土)                  | 40       |
| 19 | 専門／人間と文化 |    | 芸能の源流を探る        | 小笠原 由祠          | 5月28日(水)・29日(木)                  | 80       |
| 20 | 導入／人間と文化 |    | 旅することと生きること     | 近藤 雄生           | 5月31日(土)・6月1日(日)                 | 80       |
| 21 | 専門／心理と教育 | ■  | 心理学実験2          | 山崎 晃男           | 6月 7日(土)・8日(日)                   | 30       |
| 22 | 専門／心理と教育 |    | 心理検査法基礎実習       | 上原 依子           | 6月 7日(土)・8日(日)                   | 20       |
| 23 | 専門／人間と文化 | ★  | 住吉大社御田植神事       | 北村 毅<br>金水 敏    | 6月 7日(土)<br>6月14日(土)             | 30       |
| 24 | 基盤／外国語   | ☆  | 英語初級1           | 中嶋 浩貴           | 6月 7日(土)・14日(日)                  | 40       |
| 25 | 専門／心理と教育 | ■  | 心理学実験3          | 宮内 哲            | 6月14日(土)・15日(日)                  | 24       |
| 26 | 専門／心理と教育 |    | 心理検査法基礎実習       | 後藤 貴一<br>川本 朋   | 6月14日(土)<br>6月15日(日)             | 30<br>30 |
| 27 | 専門／人間と文化 |    | 漢字学2－漢字と中国文化－   | 池内 早紀子<br>山田 崇仁 | 6月14日(土)<br>6月15日(日)             | 40<br>40 |
| 28 | 専門／心理と教育 | ■  | 心理学実験3          | 宮内 哲            | 6月21日(土)・22日(日)                  | 24       |
| 29 | 専門／社会と産業 |    | 欧米経済史入門         | ばん澤 歩           | 6月21日(土)・22日(日)                  | 80       |
| 30 | 基盤／一般科目  |    | 新・初歩からのパソコン     | 野瀬 由季子          | 6月28日(土)・29日(日)                  | 15       |
| 31 | 専門／社会と産業 |    | イギリスの産業革命       | 山本 千映           | 6月28日(土)・29日(日)                  | 80       |
| 32 | 専門／生活と福祉 | ☆  | 日本の身体文化         | 矢田部 英正          | 7月 5日(土)・6日(日)                   | 30       |
| 33 | 専門／人間と文化 |    | 釈迦の死と「お経」の成り立ち  | 天野 信            | 7月 5日(土)・6日(日)                   | 80       |
| 34 | 専門／人間と文化 |    | 20世紀日本の音楽文化     | 鈴木 聖子           | 7月 5日(土)・6日(日)                   | 40       |
| ■  | BYOD科目   | ★  | 学外授業を伴う科目       | ☆               | 教科書購入が必要な科目                      |          |

◆◆◆ 2025 年度第 1 学期 ライブ Web 授業科目(開講日順) ◆◆◆

|   | 科目区分     | 科目名             | 担当教員  | 開講日                                          | 定員         |
|---|----------|-----------------|-------|----------------------------------------------|------------|
| 1 | 専門／心理と教育 | 心理学実験(基礎)       | 橋本 京子 | 5月15日(木)<br>5月22日(木)<br>5月29日(木)<br>6月 5日(木) | 1-2限<br>30 |
| 2 | 専門／人間と文化 | 「役割語」から日本語を考え直す | 金水 敏  | 6月18日(水)・19日(木)                              | 80         |

◆◆◆ 面接授業受講時の事前案内 ◆◆◆

大阪学習センター開設の面接授業については、以下の科目のみ、郵送での案内を授業の 2 週間前までにご自宅へお送りします。

- BYOD（パソコン持参必須）の授業
- ★ 学外（学習センター以外の場所で行う）授業
- ☆ 教科書の購入が必要な授業

上記の科目以外は、事前案内を郵送しません。

面接授業の受講科目（抽選に当選した科目）は、システム WAKABA の「履修情報」もしくは本部から送付された「科目登録決定通知書・払込取扱票」で確認してください。

また、受講前には、科目の授業概要を再度確認のうえ、来所してください。

◆◆◆ 学習センター利用時の注意事項 ◆◆◆

- ・ 構内に、車・バイクの駐車場はありません。公共交通機関のご利用をお願いします。やむを得ず車等でお越しの場合は、周辺の有料駐車場を利用してください。
- ・ 講義室は、9 時 15 分から入室できます。
- ・ 構内は禁煙です。喫煙場所也没有ありません。
- ・ 授業に必要なものは、学生証、筆記用具および各授業概要に記載のものです。事務室での貸出は行いません。

✿ 「担当講師による科目紹介動画」配信のお知らせ ✿

放送大学公式 YouTube チャンネルに、全国の学習センターの面接授業の科目紹介動画が掲載されています。大阪学習センターからは、以下 5 科目の紹介動画をご覧ください。

| 担当講師                 | 科目名             |
|----------------------|-----------------|
| 金水 敏（大阪学習センター所長）     | 「役割語」から日本語を考え直す |
| 鈴木 聖子（大阪大学大学院准教授）    | 20世紀日本の音楽文化     |
| 矢田部 英正（武蔵野美術大学非常勤講師） | 日本の身体文化         |
| 野瀬 由季子（大阪教育大学特任講師）   | 新・初歩からのパソコン     |
| 山本 千映（大阪大学大学院教授）     | イギリスの産業革命       |



放送大学 YouTube チャンネル  
担当講師による科目紹介  
動画>近畿ブロック

## ◆◆◆ 2024 年度第 2 学期面接授業の様子 ◆◆◆

### 上方落語の世界 金水 敏講師 10 月 22 日(水)・23 日(木)

面接授業の 2 日目は、夕方から大阪天満宮の北隣、天満天神繁昌亭での受講となりました。

座学で学んだ、劇場の仕組みや、同じ演目の落語でも上方と江戸では内容が異なることを、寄席観劇で実体験する授業です。

「放送大学プレゼンツ寄席」と題して、放送大学生だけでなく



市民も鑑賞する寄席の途中に、授業のゲストスピーカーの高島幸次先生、トリをつとめる笑福亭鶴笑師匠、金水先生の鼎談がありました。

「寄席で演じられる落語以外の芸は、「色物」と呼ばれます」と説明した金水先生自身が色物として舞台に上がる、ユニークな授業となりました。



### 「文楽」を鑑賞する 天野 光講師 11 月 19 日(火)・20 日(水)

今年度は、講師の天野光先生の熱心なご指導のもと行われました。

2 日目には国立文楽劇場で、開演前に 1 時間の講義を受けた後に、『仮名手本忠臣蔵』を鑑賞しました。人形遣いによる一つひとつ繊細な動きに加えて、太夫の感情のこもった語りと三味線弾きによる静と動の音色、鼓や笛などの生演奏が一体となり、人形に魂が宿っているかのような感情豊かな表現と迫力ある動きに魅了されました。



「塩谷判官切腹の段」では、無念さと潔さが伝わってきて、胸にぐっとくるものがありました。人形とは思えないほどの表情と動きで、圧巻でした。大阪発祥の伝統芸能である人形浄瑠璃文楽の素晴らしさを、ぜひこの面接授業で多くの方に味わっていただきたいです。

### 都市のかたちと空間文化 小浦 久子講師 11 月 30 日(土)・12 月 1 日(日)

「大阪の大きな通りの建物は、建設時期によって建物の高さ制限に差があります。」

なるほど、立ち並ぶビルを見上げると高さがバラバラです！先生の説明を聞きながら大阪北浜周辺を歩きました。

センター内の授業で学んだ「都市を見る目」で街を観ると、建物や道路から建築家や行政の考えや意図を実感できました。また、路地に残された秀吉時代の痕跡に、過去から現在までの都市の歴史に思いをはせることができました。

寒い中、かなりの距離を歩きましたが、物言わぬ空間から多くのことを学んだ授業でした。



## 図書・視聴学習室からのお知らせ



### ◆2024 年度所長推薦図書を配架しました◆

新たに金水所長による推薦図書を図書・視聴学習室に配架しました。

ぜひ、学習に役立ててください。

| 書 名                               | 著 者 名                 | 出版社/出版年        |
|-----------------------------------|-----------------------|----------------|
| よくわかる日本語学                         | 金水 敏 (編)              | ミネルヴァ書房/2024 年 |
| 読めない文字に挑んだ人々：<br>ヒエログリフ解説 1600 年史 | 宮川 創 (著)<br>河合 望 (監修) | 山川出版社/2024 年   |
| 中国語の役割語研究                         | 河崎 みゆき                | ひつじ書房/2024 年   |
| 太宰治論                              | 安藤 宏                  | 東京大学出版/2021 年  |
| 自然魔術師たちの饗宴：<br>ルネサンス・人文主義・宗教改革の諸相 | 澤井 繁男                 | 春秋社/2018 年     |
| 騎士                                | 澤井 繁男                 | 春秋社/2024 年     |



配架棚

### ◆図書・視聴学習室の利用について◆

#### ◆利用時間◆

| 期 間                                      | 曜 日            | 利 用 時 間             |
|------------------------------------------|----------------|---------------------|
| 通 常 期 間                                  | 火～日<br>(祝日は除く) | 9 : 3 0 ~ 1 7 : 3 0 |
| 単位認定試験実施期間と<br>学期末 (9/24～9/27、3/25～3/28) |                | 利用できません             |

- ・貴重品・学習に必要なものを持ち込む際は、書類カゴをご利用ください。
- ・その他の荷物はロッカーに預けてください。
- ・飲食物の持ち込みは原則禁止ですが、蓋つきペットボトル飲料、水筒等の持ち込みは可です。

#### ◆利用手順◆

- ①入室の際は、事務室窓口で学生証を提示し「利用確認書」と書類カゴを受け取ります。  
※ヘッドホンを利用される方は、窓口に申し出てください。
- ②退室の際は、窓口記入した「利用確認書」と書類カゴを返却する。

#### ◆図書の貸出◆

貸出は放送大学附属図書館で一括して行います。

インターネットを利用した蔵書検索システム【OPAC】で、附属図書館所蔵の一般図書・印刷教材等の検索・貸出予約・取寄せが可能です。

詳しくは、放送大学附属図書館ホームページ等で確認してください。

【放送大学附属図書館・貸出冊数】 ※貸出期間 1 ヶ月※

- ・ 本学の学部学生・・・10 冊
- ・ 卒業研究履修生・・・20 冊
- ・ 本学の大学院学生（修士）・・・20 冊
- ・ 本学の大学院学生（博士）・・・30 冊

- ・ 学習センター配架図書は、センター内で閲覧することができます。
- ・ 学習センターで附属図書館貸出図書の受取・返却は可能です。



## 【特集】大阪学友・同窓会だより



### ★放大河堀祭の出展企画中です★

10月13日（月・祝）に放大河堀祭が開催されます。大阪学友・同窓会でも出展企画を検討しております。

当日はぜひ、放大河堀祭にお越しいただき、大阪学友・同窓会コーナーもお立ち寄りください。

### ★行事のご報告★

令和6年10月26日（土曜日）に記念講演会を、2月1日年度末楽しもう会を、3月30日に音楽系3サークル主催「こぼれ音楽祭」のコーナーとして公開コンサートを開催しました。

放送大学同窓会連合会ブロック交流会の記念講演会として、東京2020パラリンピック銀メダリストの大矢 勇気氏を、こぼれ音楽祭・公開コンサートにはシンガーソングライターの荒川明浩氏をお招きし、それぞれ盛況となりました。また、年度末楽しもう会は2月1日に「6年4組」で開催し、こちらも盛会となりました。

ご参加いただいた皆様、関係者の皆様には心より御礼申し上げます。

また、今後もこのような行事の開催を検討しております。決まりましたら当会ホームページ・大阪学習センター内掲示板でお知らせします。会員でない学生の方も歓迎します。

### ★★卒業祝賀懇親会を開催しました★

3月23日にささやかながら、卒業祝賀懇親会を開催しました。ありがとうございます。

2025年秋も皆様に参加できる形式で卒業祝賀懇親会の開催ができるよう準備をすすめています。

卒業が決定された方には大阪学習センターからのお知らせに同封するとともに、大阪学習センターの掲示板でお知らせします。

### ★バッジ（まなびー・シンボルマーク）スタンプ帳web頒布中★

学習センター事務室のご協力により大阪学習センター窓口にもスタンプが配備されています。

大阪学友・同窓会がスタンプ帳を作成しました。再開した他センターの面接授業のお供にぜひどうぞ。

放送大学同窓会連合会が作成したバッジ（まなびー・シンボルマーク）も併せて取扱いしております。

各500円です。大阪学友・同窓会のホームページからお申し込みください。

また、放送大学同窓会連合会制作のTシャツについては取り扱いを検討しています。しばらくお待ちください。今後バッジは値上げを予定しています。お早めにお求めください。

### ★世話人（役員）大募集！ 卒業されていない方も歓迎です★

本会運営を担う世話人（役員）を募集しています。イベント企画・PC事務作業・Wixを使ったホームページ更新などをしてみたい方、ぜひご連絡をお待ちしております。

※基本的には会員のみです。非会員の方は一度ご相談ください。会員も募集中です。



大阪学友・同窓会の情報は随時ホームページ  
（<https://oujosakagd.wixsite.com/oujogd>  
「大阪学友同窓会」で検索してください。）や  
学習センター掲示板で提供しております。

連絡先：oujosakadousoukai@gmail.com

【文責：大阪学友・同窓会 副代表世話人（みおつくし担当） 古川 徹】

## サークル紹介

大阪学習センターでは、18のサークルが活発な活動を行っています。今回は、そのうち4サークルの活動内容をご紹介します。



### 軽音倶楽部

軽音倶楽部は2008年11月に「芸術、音楽を通じて学生の親睦を図るため」に設立されました。主に月2回、第2・4日曜日の午前中に活動しており、メンバーはそれぞれボーカル、ギター、ベース、ドラム、キーボードなどを担当します。音楽のジャンルも様々で、洋楽や邦楽問わず、ロックにポップスなどメンバーの好きな曲を演奏しています。ちなみに部長の私はビートルズに影響を受けて音楽を始めました。いつも聴いているあの歌をギター弾き語りできたらいいなあ。そんな思いでサークルに参加して10数年、人前での演奏は今でも緊張しますが、仲間と一緒に歌って演奏する楽しさやライブ感に毎回ワクワクしています！



軽音倶楽部最大のステージが毎年10月開催の「放大河堀祭」で、去年は「Let It Be」や「上を向いて歩こう」、「愛は勝つ」など全11曲を熱唱！2017年からは毎年春の恒例行事として、同じく大阪SCのコーラスサークル、歌曲の会の方々と「こぼれ音楽祭」を共催、今年も最後「もしもピアノが弾けたなら」を全体合唱しました！新型コロナも落ち着き新メンバー加入もありパワーアップ！音楽で広がる仲間の輪。歌が好きだ、楽器を始めてみたいなあ、何か始めてみたいなあ、と思った方！ぜひ軽音倶楽部にお越しください！また音楽が好きの方もぜひ私たちの演奏・ライブを観に来てくださいね！Let's Rock! Have FUN!



去年12月には大阪市生野区の「いくのパーク」でのイベントでも演奏！大学外での公演依頼もお待ちしております！

スローガンは「♪ Music with you～音楽が結ぶ絆～」、みなさんも一緒に音楽してみませんか？

【文責：代表 全科履修生 俵石 正雄】

### 歌曲の会

「歌曲の会」は、2025年度10周年を迎える比較的新しいサークルです。それでもこの10年には苦労や喜び、その繋がり方は糾える縄のようでもありました。

初めの5年間支えてくださった当重茜先生の訃報を聞いたこの2月、思い返せばいろいろな方のご指導ご協力のもと活動できていたと改めて思い返す日々でした。初期にピアノを弾いてくださった高橋晴子先生、次の5年を支えてくださった柏木ドリス優真先生、今は大学の講師になられて多忙なご様子。そして、出会った多くの大切な仲間たち…、自主練習、ZOOM会議、発表会…。これから、新たな10年をまた一歩ずつ歩んで行こうとしています。

『歌曲の会』は 毎週火曜日の13時から15時にセミナー室で活動しており、木曜日を振替の活動日としています。指導していただいている伊藤直美先生はオーストリアで、馬場恵先生はフランスで声楽を学ばれた方々です。活動内容は、毎回、講師による姿勢や身体の使い方、呼吸法や発声など基礎指導と希望曲の個別指導があり、参加費は4月より1回1,500円になる予定です。

指導曲は、歌謡曲、唱歌、カンツォーネ、シャンソン、歌曲、オペラアリアなど多岐に亘ります。2時間の活動内でこれらを効率的に組み込むことは難しいですが、講師陣の熱心な指導によって多岐にわたるレパートリーを学ぶことができます。コロナ禍で減少した会員数はまだ戻っていませんが、それを逆手に少しずつ研鑽を重ねて手ごたえを実感しているところです。

活動の節目に、春のこぼれ音楽祭と秋の河堀祭での発表があり、発表本番ではピアニストを招いて演奏を行います。今後は他の音楽イベントへの参加や自主演奏会の開催、個人でコンクールやイベントに参加するメンバーの応援なども計画していきます。そして、『歌曲の会』に新しい仲間が加わることを歓迎します。

皆様にお会いできること、皆様の前で歌えることを楽しみにしています。

音楽を楽しむ仲間たちとともに、あなたもぜひ『歌曲の会』に参加してみませんか。

【文責：代表 全科履修生 北次 妙子】



## 放送大学おおさか若者のつどい

おおさか若者のつどいは2021年6月に設立されました。放送大学は色々な年齢層の方が学ばれている大学で、私も入学してから、色々なサークルや交流会等に参加はしていましたが、その中でも若年層を中心に集まるサークルがないなと思い、他の学習センターのサークルを調べてみると、当時神奈川や千葉に若年層で定期的にオフ会などを行っている若者の集いサークルがありました。

これを関西でも立ち上げたいと思い、設立を目指すためにまずはSNSの作成、メンバー集めを行いサークル設立に向けてまずは学生有志として集まりを実施した矢先の新型コロナの流行で、実績をつくるために毎月オンラインでの交流会に切り替え1年間積み重ねた結果設立することができました。新型コロナウイルスの流行や、単位認定試験がネットを受験となる等の変化の中でやはりまだまだ学習センターに集まる学生は少ないですが、サークル設立後は主に学外活動を行い、毎年恒例のUSJ会や大阪を飛び出しての名古屋観光、最近ではスイツパラダイスでのランチ会やステラおばさんのクッキー食べ放題などでのメンバー間の親睦を深めています。

サークルを設立して、今年の6月で4年になりますが、今では「若年層」の幅も広く、10代の方ももちろん、50代の方も参加されており「楽しく盛り上がったらみんな若者！」と年齢制限のないサークルになっています。また、オンラインでの活動も不定期に行っていて、普段リアルでの参加が難しい方や大阪以外の地域の学生との交流も行っており、全国の学生と繋がる事ができる点では他のサークルに負けない自信があります！

今後はメンバーからの提案で工場見学や水族館など行きたいと考えています。

サークル活動の詳細は各SNS等で発信していますので、ご興味のある方はご連絡ください。一緒に楽しいキャンパスライフにしましょう！

【文責：代表 全科履修生 多田 和恵】



## 放送大学 関西陸上競技部

早いもので、今年でサークル創設から5年目を迎えました。これまで関西学生駅伝や箱根駅伝予選会などに出場し、通信制大学としては前代未聞の挑戦を続けておりましたが、この一年間は各々のペースで活動を続けて参りました。20～30代の部員で構成される私たちの中には、仕事や家庭で大きな分岐点に立たされる者もあり、各々の取り巻く環境の変化に順応することに精一杯で、サークル活動とその他諸々を両立していくことの難しさを痛感しております。

どちらかと言えばこれまでの当サークルは、ストイックに記録更新を目指す部員が多くを占めておりました。しかし最近では、ブランクを取り戻すべく再び走り始めた者、単純に走ることを楽しむ者、健康維持の為に走る者など、年を重ねるごとに陸上競技への向き合い方も多様なものになってきたのではないかと感じております。

目立った活動はあまりありませんでしたが、そんな中で、1月に行われた関西学生ハーフマラソン選手権大会には9名の部員が出場し、それぞれが持てる力を発揮しました。惜しくも途中棄権となってしまった部員や何とかギリギリゴールできた部員もいる一方で、自己ベストを更新する部員もあり、普段チームとして集まる機会はほとんどない私たちですが、チームメイトの躍進は少なからず各部員にも良い影響があったのではないかと感じております。2月には日本各地でフルマラソンが行われました。1月のハーフマラソンで自己ベストを更新した部員に続くように、フルマラソンで長年記録を更新できていなかった部員が自己ベストを更新することができました。



何歳になっても記録に挑戦する姿はカッコいいものです。頻繁に集まって練習をすることは容易ではありませんが、SNS等を活用し、部員間で近況を盛んに共有しあい、互いに刺激しあえるようなそんなサークルであり続けたいと考えております。

【文責：代表 全科履修生 村上 将悟】



編集・発行 放送大学 大阪学習センター

〒543-0054 大阪府大阪市天王寺区南河堀町 4-88

(大阪教育大学天王寺キャンパス内)

電話:06-6773-6328/FAX:06-6773-6322

ウェブサイト:<http://www.sc.ouj.ac.jp/center/osaka/>



**放送大学**  
大阪学習センター